

確定日（令和02 年 08 月 21 日）

事業コード	02020149			政策コード	02	政策名	社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略							
事業名	自動車運転代行業継続支援金事業				施策コード	02	施策名	中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上						
					指標コード	01	施策目標(指標)名	持続的発展に向けた企業の経営基盤の強化						
部局名	産業労働部	課室名	産業政策課		班名	企画班		(tel)	2214	担当課長名	工藤 千里	担当者名	佐々木太樹也	
評価対象事業(計画)の内容											事業年度	令和02年度 ~ 令和02年度		
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 運転代行業は、主に飲酒した人に代わって運転する役務を提供するサービス業であり、マイカーが普及している本県において、飲酒運転防止のために欠かすことのできない産業である。新型コロナウイルス感染症の拡大により、飲食店で飲酒する人が激減したことに伴い、運転代行業者は利用者が大幅に減少し経営状況が悪化しているため、事業継続を支援する必要がある。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 運転代行業者が事業を維持できるようにする。 (重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望									
					4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 県内の自動車運転代行業者 達成のための手段 事業維持のための支援金を支給する									
2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期: R02 年 05 月) ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □ インターネット ■ その他の手法 (具体的に 事業者からの要望) ニーズの具体的内容 新型コロナウイルス感染症の拡大による休業要請等により飲食店が休業した結果、運転代行を利用する人が激減したため、経営状況が悪化しているので、支援してほしいとの声があった。					比較した代替手段及び選択した手段の有効性 運転代行の利用者に補助する方法もあるが、事務が繁雑となり、その事務を委託すると経費が掛かり増しとなる。運転代行業者を営むには公安委員会の認定を得る必要があり対象者の把握が容易であるため、対象者に直接支援金を支給することが最も迅速で効率的である。									
把握してない場合の理由及び今後の方針														
理由														
今後の方針														
5. 事業の全体計画及び財源														
単位(千円)														
順位	事業内記		左の説明			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画		
01	自動車運転代行業継続支援金事業		自動車運転代行業者に支援金を支給する。			35,059	0	0	0	0	0	35,059		
財源内記		左の説明			35,059	0	0	0	0	0	0	35,059		
国庫補助金					0	0	0	0	0	0	0	0		
県債					0	0	0	0	0	0	0	0		
その他					0	0	0	0	0	0	0	0		
一般財源					35,059	0	0	0	0	0	0	35,059		

6．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み												
事業の期待される成果		自動車運転代行業者の経営が維持される。										
指標	指標名	自動車運転代行業者数							指標の種類			
	指標式	秋田県公安委員会に認定されている自動車運転代行業者数							● 成果指標 ○ 業績指標			
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）											
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度			
	目標a			248					248			
	実績b			データ等の出典								
	東 北			秋田県公安委員会へ照会								
	全 国											
把握する時期 ● 当該年度中 03 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月												
指標	指標名								指標の種類			
	指標式								○ 成果指標 ○ 業績指標			
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）											
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度			
	目標a											
	実績b			データ等の出典								
	東 北											
	全 国											
把握する時期 ○ 当該年度中 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月												
指標を設定することができない場合の効果の把握方法 指標を設定することが出来ない理由 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む) 												
事業の必要性												
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性 自動車運転代行業者は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が大幅に減少し、経営状況が悪化しているため、経営継続を支援する必要がある。 												
住民ニーズに照らした事業の必要性 運転代行業者より経営維持の支援を求める声がある。 												
事業の県関与の必要性 ☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ☐ 県でなければ実施できないもの ■ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの 自動車運転代行業の経営状況悪化は、秋田県内で共通の問題であり、県主導で実施することが妥当である。 												
政策評価委員会意見								重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定				
								○ 重点事業 ○ その他				